

平成29年12月11日

保護者の皆様へ

丹波市立青垣小学校

校長 小田敏治

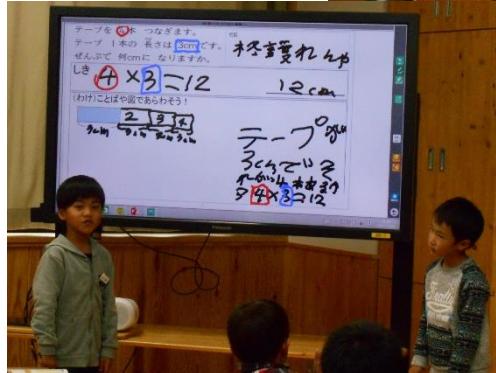
平成29年度 全国学力・学習状況調査

青垣小学校の調査結果の概要について

～学び続ける子どもたちを育てるために～

寒冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育に格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、本年度4月18日に、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、国語、算数(数学)の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する「全国学力・学習状況調査」が丹波市においても実施されました。本校におきましてもその結果を分析し、今後の対応について協議を行いました。ここに、その概要についてご報告いたします。



～丹波市における調査のとらえ方～

丹波市は、学校が児童生徒にとって安心できる居場所となるために、一人一人が「わかった」「できた」と実感を伴う授業や、すべての児童生徒が活躍できる授業を展開する必要があると考えています。また、教職員が児童生徒の学習の達成状況を的確に把握し、一人一人の良さや可能性を伸ばし、活かすことが必要であると考えています。

そのためには、児童生徒の現状把握、分析が不可欠です。全国学力・学習状況調査の結果もその一つであるととらえ、本調査結果を踏まえた指導の改善・充実に取り組んでいます。

学力状況と指導改善の方向



【国語】

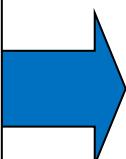
【成果と課題】

成果

- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして書く問題は、よくできていました。
- ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる問題は、よくできていました。
- 古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読むことができていました。

課題

- ◆初めての文章を「読む」ことに慣れていない様子が見受けられました。
- ◆問い合わせに対する意識を持たずに文章を読み、最後の問題までたどり着けず、無回答になっている場合がありました。
- ◆キーワードに注目できていませんでした。
- ◆必要な情報を見つけることに課題がありました。
- ◆文章を複数の条件に合わせてまとめるときに課題がありました。



【指導改善の方向】

- ・初めての文章を読む経験をさせます。
- ・語彙数を増やすため、辞書で意味調べをしたり、その学年で学んでおくべき言葉をどんどん使っていったりする機会をつくります。
- ・主題を自分の言葉で書かせたり、引用させたりしてまとめる学習をします。
- ・根拠をはっきりさせ、自分の意見を言うとともに、相手の意見を聞いて自分の言葉で説明できる力をつける授業に取り組みます。
- ・情報を取捨選択する力を付け、様々な情報多面的に捉え、自分なりの意見を持つことができるような授業の工夫します。
- ・授業の中で複数の条件を付けて書く場面を設けます。また、振り返りやまとめにも、キーワードを使ったり、字数制限をして書いたりさせます。
- ・書く力につけるために、学校行事や地域での体験学習に合わせて、相手を意識した「手紙」を書かせ、手紙の形式を指導していきます。

【算数】

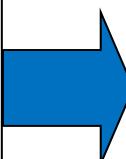
【成果と課題】

成果

- 時間が無くなり、後半部分は無回答もありましたが、何か書こう、解こうとする意欲が見られました。
- 最小公倍数がよく理解できていました。

課題

- ◆割合の理解を問う設問に誤答が多く見られました。
- ◆小数と整数の足し算に誤答が多く、位取りの理解に課題が多く見られました。また、示された数量から関係を考察し、きまりを見つけることが苦手です。
- ◆三角形の底辺に対応する高さを選ぶ問題に課題がありました。
- ◆複雑な表を見て、どの欄が何を表しているか読み取ることが苦手です。
- ◆重さによって配達料が異なり、できるだけ安く送る方法を考えるなど、日常生活の問題から数学的に処理することに課題が見られました。
- ◆自分の考えを筋道の通った文章にすることに課題が見られました。



【指導改善の方向】

- ・自分がどのように考えたのか、ペアトークやグループトークで述べる機会をつくります。
- ・答えからどのように解いたのかを考える学習活動を取り入れます。
- ・問題文から、解答を導くための必要な情報だけを抜き出す力をつけていきます。
- ・生活に根差した課題を取り上げ、意欲を引き出します。
- ・意見を述べる際に、資料から根拠を明確にし、結論に結び付ける力を育てる授業を意識します。
- ・これまでの学習内容から、予想を立てさせる活動を行い見通しをもたせ、発展させていくことで、きまりを見いだす楽しさを実感させる活動を授業に取り入れます。

学習や生活の状況

【学習習慣(学習に関すること)】

項目	青垣小	全 国	比較
学校の授業時間以外に、平日に1日1時間以上勉強をしている。	68.2%	64.4%	○
学校の授業時間以外に、平日に10分以上読書をしている。	54.5%	63.4%	▲
国語の勉強が好き。	70.5%	60.5%	◎
算数の勉強が好き。	61.3%	65.9%	△

家庭学習の時間は全国と比較しても十分にとれている状況です。また、国語が好きと答えている児童は多いのですが、読書量の少なさが気になります。ご家庭でも、進学・進級に向けて、家庭学習や読書の時間に積極的に取り組めるよう、引き続きご協力をお願いします。

統計数が少ないので、「1」「2」の人数の割合を合計し、全国と比較して優れているものを◎、やや上回るものを○、やや下回るものを△、最重要課題を▲として表しました。

【基本的生活習慣】

項目	青垣小	全 国	比較
朝食を毎日食べている。	100%	95.4%	○
平日、1日当たり3時間以上、テレビやDVDを見たり聞いたりする。	41.0%	32.7%	▲

基本的な生活習慣では、朝食については「当てはまる」が100%で、良い習慣が身についています。しかし、テレビ等の視聴時間が非常に長い傾向があります。ご家庭で、しっかりしたルール作りをし、ルールを確実に守らせることが大切です。

【自尊感情、困難に対する行動】

項目	青垣小	全 国	比較
将来の夢や目標を持っている。	90.9%	85.9%	◎
自分には、よいところがあると思う。	68.2%	77.9%	▲
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。	86.3%	94.8%	▲
難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦する。	70.4%	77.4%	△

将来の夢や目標を持っている児童が多く、「ゆめ力」が高い傾向にあります。しかし、自尊感情が少し低く、達成感を味わうことが少ないようです。今後は、頑張りを認める言葉かけや挑戦する機会を増やし、自信をもてるよう学校と家庭と両方で協力していきましょう。

【社会との関わり】

項目	青垣小	全 国	比較
今住んでいる地域の行事に参加している。	88.6%	62.6%	◎
学校のきまりを守っている。	86.3%	92.6%	△
いじめは、どんな理由があってもいけないことである。	93.2%	96.1%	△

地域の行事には、全国と比べ「参加する」と答えた児童が多いです。地域の行事を通して、地域の方々とふれあう中で育っています。今後も、お世話になっている地域の方々に感謝し、周りの人とのつながりを深め、進んで地域に働きかける人に育つよう願っています。また、子どもたちが温かい人間関係を築けるように、温かい心をもって周りの人と接することの大切さ、温かい言葉かけの大切さを子どもたちに語りかけてくださいますようお願いします。

今後の取組

1 授業改善の取り組み

- ①校内研修会を計画的に実施し、授業力向上、授業改善に取り組みます。
 - ・学習の「めあて」「まとめ」を明確にし、「振り返り」の時間を確保します。
 - ・「個人思考」「集団思考」「ペアトーク」など多様な学習形態を取り入れて、自分の考えをまとめ、伝える時間を確保し、自分の考えを表現する力を伸ばします。
 - ・算数では図や言葉、式で自分の考えの「あしあと」が残るノート作り、国語では、友だちの意見をメモし、考えが深まるノート作りをする力を育成します。
 - ・学んだことを生活場面と関連させる学習内容を取り入れ、学習内容が日常生活に結びついていることが実感できる授業をめざします。
- ②学習意欲を高める授業改善を行います。
 - ・タブレット端末や実物投影機などのICT機器を活用し、視覚的な支援をおこなうことで、授業を充実させます。
- ③個に応じた指導の充実に取り組みます。
 - ・効果的な同室複数指導による個に応じた指導をさらに充実させます。

2 基礎基本の定着の取り組み

- ①計算力、文法や漢字力の定着を図ります。
 - ・朝の「スキルタイム」(火、金 8:15~8:25) の充実を図ります。
- ②読書活動を推進します。
 - ・朝の「読書タイム」(月、水 8:15~8:25) などで、読書をすることで語彙力や想像力を養います。
 - ・「読み聞かせボランティア」を地域の方にお世話になることにより、読書への興味を深め、読書習慣の定着を図ります。
 - ・「家庭読書の日」「読書週間」を設けたり、「読書カード」を活用したりすることで、読書に対する関心を高めます。
- ③家庭学習の定着
 - ・「家庭学習の手引き」を配布し、家庭での協力を得ながら家庭学習習慣の定着を図ります。
 - ・学年に応じた学習時間や内容を指導し、自主的に家庭で学習する力を高めます。

3 いじめを許さない学校づくり、規範意識の育成に取り組みます。

- ①授業や学校行事など、すべての教育活動を通して、頑張りを認め、挑戦する機会を増やし、児童の自尊感情の育成に取り組みます。
- ②地域ボランティアと触れ合いながら、地域の伝統的な行事を体験することで、郷土に対する愛着や誇りを育みます。
- ③「いじめアンケート」を定期的に行い、児童の実態把握に努め、いじめのない学校づくりに取り組みます。
- ④あいさつ運動や温かい人間関係作りに取り組みます。
- ⑤自分たちの行動を振り返ることができるような生活目標を設定し、学習・生活規律の定着に取り組みます。(挨拶、時間、掃除)